

# 残り13秒 速攻で逆転

## ハンドボール

(石垣市総合体育館)

【男子】		【女子】	
神	美	神	美
森	東	森	東
34	32	36	32
11	12	122	124
宮	神	9	9
浦	西	18	18
25	30	仲	仲
20	11	西	西
西	原	美	美
里	森	東	東
美	仲	19	14
東	西	5	5
14	10	8	10
18	18	仲	仲
西	原	西	西

## 美東

女子決勝は美東が試合終了間際に逆転し、ライバル仲西を19-18で制した。「前半は自分たちのプレーができていなかったとGKの比嘉楓主将。持ち味

の速攻はことごとく止められ、仲西のエース砂川茉莉らのクロスアタックに切り崩された。5点を追う展開となり「気持ちで負けて開となり「気持ちで負けて開となり「気持ちで負けて開となり」全力でやる」と比嘉と切り替えた後半は、相手の得点源を徹底マークして守備から立て直し



女子決勝 美東一仲西 後半、シュートを放つ美東の上間望愛＝石垣市総合体育館 (新垣玲央撮影)

# 美東 (女子) 神森 (男子) 頂点

た。センターの金城菜々子は「自分一人じゃない。周りを使って流れをつくる」と奮起。右バック上間望愛、左バック名嘉陽菜らと細かくパスを回して相手を揺さぶり、3人で得点を重ねて10分すぎに追い付いた。それでも逆転できないまま試合は進み、同点で残り30秒を切った。ここで比嘉が好セーブ。金城が速攻で一気にシュートへ持ち込

女子優勝の美東  
………  
み、待望のリードを奪った。残り13秒をしのぎ切り、激戦が終わった。  
後半7得点と量産した金城は「一進一退の攻防を楽しかった」と振り返る。一方で「もっと良い試合ができたはず。個々のスキルを高め、視野も広げないと課題も忘れない。」九州も沖縄同士で決勝を「トライバルと共に全国を目指す。」  
(新垣玲央)



## 全員得点 点差広げる

## 神森

男子は3月に全国制覇した神森が圧倒的な力を見せつけ、仲西を36-18のダブルスコアで退けた。「絶対取るという思いで気持ちを一気にしてきた」前半は11分すぎまで失点も達成した。

1に抑えるなど、堅守を発揮。個々の高い能力が光り、速攻や相手の隙を突くパス回しで次々とゴールに結び付けた。「全国大会へ一人一人の意欲も高く、チームがまとまっている」と多和田真高コーチ。伊禮は「九州、全国でも優勝旗を取れるように、個々のディフェンスの強さ、シュート力をもっと上げたい」と意気込んだ。



⑤男子決勝 神森一仲西 前半、12点目を決める神森の親泊寛幹 ⑥男子優勝の神森